

開拓使

乙亥八月廿二日

魯國船難破之儀御届書案

本使管下後志國壽都郡沖合於^ラ魯國人^{パールシ}及^スモリヤコフ所
持船兩枝^{ナデシタ}形^ナ號沈没致別記人名衆等本月廿四日郡政
府村^ト漂着致候^ニ付夫々救助保護致^シ同^ニ台函館港^ニ護送候處
本港於^ラ魯國領事停駐無^ニ付尚官員附副橫濱港^ニ送越同
港在駐領事^台引渡候旨函館在勤三等仕枚浦誠ヨリ申越候条
此段御届申上候也

明治八年五月四日

開拓長官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

△去月四日
色^ニ赤^ニなる
九^ノノ^ニなる
乙亥八月廿二日
お^ハあ^ハは^ハは
ふ^ハあ^ハは^ハ
お^ハあ^ハは^ハ
七^ノノ^ニなる

開拓使

日本西食之秀

九龍

乙卯年十月十七日

年八月五日濟

秋田縣同北海道諸產物出港稅則
第十條但書ノ我以下同ニ奉藏

第十條但書ノ我以下問ニ付著識

北海道諸產物出港税則以第十條但書ノ義ハ船頭
直荷物トシ運賃ノ輕重ニ依リ外荷物_(積込貨物)トシ運賃ノ輕重
ヲ別ルガ如ク此ノ運賃比較可以取立候義相心得
候様法指令相成度此般上陳仕候也

明治八年十二月五日

開拓長官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

明倫彙編